

2018年12月26日

【格付維持/方向性変更】オリックスと子会社2社の方向性をポジティブに変更

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

＜格付見直し結果＞ *格付対象は後記をご参照ください

発行者(証券コード)	格付	格付の方向性	CP
オリックス(8591)	A+ (維持)	安定的→ポジティブ	a-1 (維持)
オリックス生命保険	A+ (維持)	安定的→ポジティブ	—
オリックス銀行	A+ (維持)	安定的→ポジティブ	—

【格付理由】

○オリックス

金融サービスから不動産開発・運営、事業投資まで展開する複合企業。リースや貸付金など国内外の金利収入やサービス収入に加え、Robecoを中心とする資産運用ビジネス、生命保険や太陽光発電事業が安定した収益源として育っている。サービス事業の拡大や資産の入れ替えにより収益を底上げする構図が定着してきた。リスク・リターンのバランスを崩さず、かつ有利子負債を大きく増やすことなく安定して高い利益を確保できる収益構造への転換が進みつつあることから、格付は維持したものの、方向性をポジティブに変更した。

利益蓄積が進んだことで資本の充実度が高まり、リスク耐久力はAAゾーンに届く水準まで良化している。のれんの減損リスクも大きくない。資産を使わない事業を拡大していることから、D/Eレシオ(有利子負債の自己資本に対する倍率)は1.5倍まで低下している。社内基準に基づく株主資本使用率を8割程度でコントロールしており、レバレッジを大きく高めていく可能性は低いと判断している。

資産の質は良好である。与信ポートフォリオは業種分散と小口分散が効いているうえ、比較的厚く引き当てることで資産劣化に対する一定の備えもできている。資金調達額は多額だが、保守的な財務運営を続けている。金融危機を想定して手元流動性を厚めに確保しており、純有利子負債は3兆円程度まで減少している。

近年は環境エネルギーの投資・開発やコンセッションといった事業運営、航空機・船舶への出資などを増やしている。事業運営リスクは増加基調にあり、リスク管理の重要性は増している。2017年にERM(統合的リスク管理)本部を立ち上げ、グローバルに複雑化するリスクに対応した管理体制やガバナンスを強化している。こうした取り組みを通じ、リスクを適切にコントロールし、収益基盤を拡充することができれば格上げする。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

○オリックス生命保険

オリックスが100%出資する生命保険会社で、グループのリテール部門の中核会社。戦略的な重要性は極めて高く、格付はオリックスと同じにしている。

主に乗合代理店を通じて、医療保険などの第三分野を中心に保障性商品を販売する。競争が激化するなかでも、商品・チャネルの複線化を徐々に進めつつ、業界平均を上回るペースで保有契約件数を積み上げており、営業基盤の安定感が高まっている。収益力はAゾーンに見合う。標準生命表改定を受けて主力商品の料率を変更しており、今後も販売量の確保などにより一定の収益水準を維持していけるか確認していく。

リスク耐久力はAゾーンの水準にある。新契約獲得に伴う財務会計上の負担に対しては、オリックスグループからの支援が期待できることから、今後も一定のリスク耐久力を維持できる可能性が高い。ハートフォード生命が取り扱った変額年金保険の最低保証リスクは、オリックスグループの再保険会社に出再しており、オリックス生命自体では抱えていない。

○オリックス銀行

オリックスが100%出資する連結子会社で、グループのリテール部門の中核会社。グループで唯一、預金調達や信託機能を持つ。戦略的な重要性は極めて高く、格付はオリックスと同じにしている。

無店舗型でインターネットバンキングを中心に預金を集める。ワンルームの投資用マンション向け住宅ローンが主力商品。この分野に早くに進出して優良な不動産業者との関係を構築しており、高い市場地位を持つ。このほかカードローン、法人融資、信託などの事業も手掛ける。住宅ローンの債務者の多くは収入の比較的安定した個人で資産形成を目的とし、資産の質は良好さを保っている。

ローコストオペレーションを徹底し、国内銀行の中では収益力はトップクラス。カードローンの広告宣伝費を抑制したことで収益性が向上している。オリックス銀行はROAやROEの水準では他のグループ会社に比べ低いものの、安定収益源としてのグループへの貢献も大きい。リスク耐久力はAゾーンに見合う。顧客の金利選好度は高いが、預金吸収力が強く流動性に不安は少ない。

【格付対象】

発行者：オリックス（証券コード：8591）

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	A+（維持）	安定的→ポジティブ		
名称	発行予定額 (億円)	発行予定期間		予備格付
発行登録（社債）	5,000	2017年05月24日～2019年05月23日		A+（維持）
発行登録（社債：売出し）	1,000	2017年05月24日～2019年05月23日		A+（維持）
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第139回無担保社債	100	2010年08月26日	2019年08月26日	A+（維持）
第142回無担保社債	100	2010年11月01日	2020年10月30日	A+（維持）
第164回無担保社債	100	2012年08月07日	2019年08月07日	A+（維持）
第168回無担保社債	100	2013年03月07日	2020年03月06日	A+（維持）
第171回無担保社債	200	2013年04月30日	2023年04月28日	A+（維持）
第173回無担保社債	150	2013年04月17日	2020年04月17日	A+（維持）
第174回無担保社債	100	2013年07月17日	2020年07月17日	A+（維持）
第175回無担保社債	100	2013年11月26日	2023年11月24日	A+（維持）
第176回無担保社債	100	2014年02月27日	2019年02月27日	A+（維持）
第177回無担保社債	100	2014年02月27日	2024年02月27日	A+（維持）
第178回無担保社債	300	2014年06月16日	2021年06月16日	A+（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

第179回無担保社債	200	2014年06月05日	2024年06月05日	A+ (維持)
第180回無担保社債	200	2014年09月04日	2024年09月04日	A+ (維持)
第181回無担保社債	300	2014年09月26日	2024年09月26日	A+ (維持)
第182回無担保社債	300	2014年12月09日	2019年12月09日	A+ (維持)
第183回無担保社債	300	2015年03月09日	2019年03月08日	A+ (維持)
第184回無担保社債	350	2015年04月30日	2020年04月30日	A+ (維持)
第185回無担保社債	400	2016年02月10日	2021年02月19日	A+ (維持)
第186回無担保社債	100	2016年07月14日	2021年07月14日	A+ (維持)
第187回無担保社債	100	2016年07月14日	2026年07月14日	A+ (維持)
第188回無担保社債	100	2017年02月27日	2022年02月25日	A+ (維持)
第189回無担保社債	100	2017年02月27日	2027年02月26日	A+ (維持)
第190回無担保社債	200	2017年05月01日	2022年04月28日	A+ (維持)
第191回無担保社債	100	2017年04月20日	2022年04月20日	A+ (維持)
第192回無担保社債	300	2017年06月22日	2022年06月22日	A+ (維持)
第193回無担保社債	100	2017年09月14日	2024年09月13日	A+ (維持)
第194回無担保社債	200	2018年11月08日	2023年11月08日	A+ (維持)
第195回無担保社債	100	2018年11月08日	2028年11月08日	A+ (維持)
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付	
コマーシャルペーパー	5,000	無担保	a-1 (維持)	
名称	発行限度額 (百万米ドル)	担保・保証 保証会社等	格付	
ユーロMTNプログラム	4,000	無担保	A+ (維持)	

発行者：オリックス生命保険

名称	格付	格付の方向性
保険金支払能力	A+ (維持)	安定的→ポジティブ

発行者：オリックス銀行

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A+ (維持)	安定的→ポジティブ

☆予備格付は、個別債務の最終的な条件が決定されていない段階で予備的な信用格付が必要となる場合に、付与する評価です。個別債務の最終的な契約内容等によっては、予備格付とは異なる信用格付が付与されることがあります。

☆MTNプログラムに対する信用格付はプログラムを対象としており、プログラムのもとで発行する個々の債券に対する信用格付ではありません。個々の債券の信用格付は通常、同プログラムの信用格付と同一ですが、クレジットリンク債、インデックスリンク債など個々の債券の契約内容によっては、同一とならない、あるいは格付しないことがあります。R&Iは依頼に応じて、個々の債券にも信用格付を付与することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	オリックス、オリックス銀行：大内 祥子 オリックス生命保険：肝付 卓也
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2018年12月20日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2018. 05. 31] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017. 03. 07] リース [2017. 03. 24] 生命保険 [2013. 10. 31] 預金取扱金融機関 [2015. 12. 21] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	オリックス、オリックス生命保険、オリックス銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。